



12月～1月は高病原性鳥インフルエンザが最も危険な時期です。くれぐれもご注意ください。



JACCNET

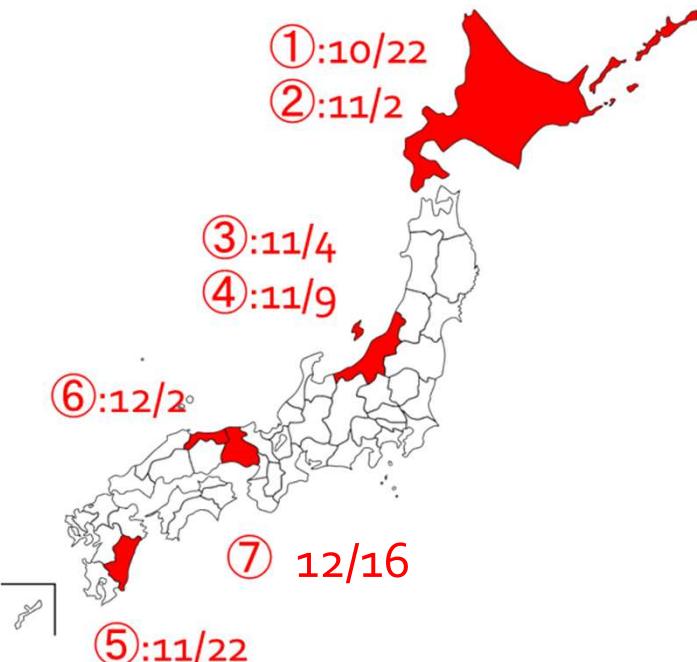
毎年、鳥インフルエンザの発生は12～1月に集中します。残念ながら今シーズンの7例目、12月では2例目となる鳥インフルエンザが農場で発生しています。前回の鳥取での発生から隣県での発生となりました。

発生状況をみると、北から南に地方の偏りなく発生していることがわかります。

野鳥を介して、全国にウイルスが存在していると考えられます。

農場で異変を察知したら、

まずは家保への通報を徹底してください。陰性であれば、農場へウイルスを入ってきていないと安心できますし、万が一、陽性場合も早期発見により周囲への感染拡大を防ぐことができます。



防疫の強化は農場職員だけが取り組むのではなく、関係者全員が意識する必要があります。手指や靴底の消毒徹底、車両の洗車消毒など、畜産業界関わる人間が一体となって、防疫対策に取り組むようお願いいたします。

農場、関連施設にウイルスを

持ち込まない

車両や手指の消毒実施

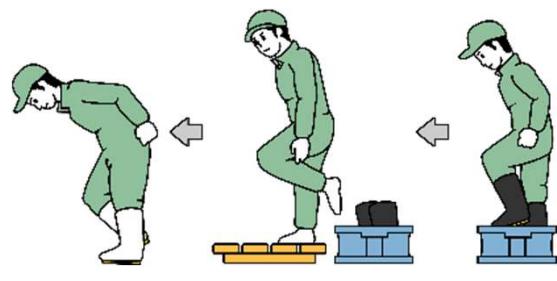


広げない

スノコを利用した長靴の履き替え実施



持ち出さない



消毒剤は効果が切れる前に、巻きなおしましよう。

種類	商品名	希釈倍数	種類	商品名	希釈倍数
塩素剤	ビルコンS クレンテ スミクロール	500倍～2000倍 300倍～3000倍 100倍～1000倍	逆性石けん 冬は石灰等で アルカリ性に するとよい	ロンテクト パコマ クリアキル100 アストップ	500倍～2000倍 500倍～2000倍 500倍～2000倍 500倍～2000倍
ヨウ素剤	クリンナップA ファインホール バイオシッド30 ポリアップ16	200倍～800倍 200倍～800倍 500倍～1000倍 2000倍～5000倍	オルソ剤	オーチストン ゼクトン タナベゾール	100倍～300倍 100倍～300倍 100倍～200倍
アルdehyド	グルタクリーン エクスカット	200倍～1000倍 200倍～1000倍	消毒剤以外にも、過酢酸系除菌剤（ビネパワー）の600倍希釈液を踏込み消毒槽に使うことも推奨します		

消毒剤の効率的利用で効果を高めましょう

逆性石けんのアルカリ化で
消毒効果の強化（踏込み槽など）

フィーネナチュラルFNPパウダー

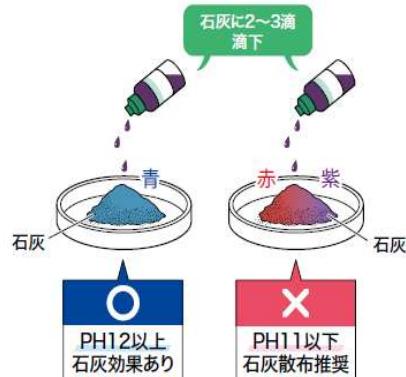
水に溶解するとpH12以上^の強アルカリ溶液となり、高い消毒作用を持ちます。さらに踏込み消毒時などに、逆性石けんへ添加することで、低温下、有機物混入時もpHの低下を抑え、消毒効果を維持させます。



目視での消石灰の
効果確認

リトアクア

散布した消石灰が消毒効果の高いpH12以上^を維持できているのか目視し、より効果的な石灰散布が実施できます。



消毒のポイント！

冬場は逆性石けんの効果が低下します。

→マイクロ水酸化カルシウム（フィーネナチュラルパウダー）を添加し、消毒効果を高めましょう。

長靴に泥など有機物が付着すると消毒液が浸透しません。

→長靴はしっかり洗ってから消毒しましょう。

石灰は白さが残っていても消毒効果は失われていることがあります。

→有効性可視化剤（リトアクア）を使って効果を確認しましょう。

全農

JACCネット

JA全農が提供する畜産総合情報サイト

動画版「防疫管理の基礎知識」



「マイクロMix法の解説動画」



中央畜産会、農水省、JA全農等で作成

全農

全農畜産生産部